



横手市議会だより

# あなたと市議会

3月 定例会

No.62 12月

令和2年4月15日号

6月

9月



増田と横手・旭岡山神社のぼんでん。  
子どもたちの笑顔あふれる瞬間をおさめました。

(撮影：加藤勝義議員 他)

# 可決 総額543億1300万円の一般会計予算案

3月定例議会は、2月25日から3月19日までの日程で開催されました。令和2年度予算をはじめとする議案審査の中から、特に注目する内容について取り上げます。  
(奥山 豊和)

会議資料と審議結果はこちらからご覧いただけます。

## 大型公共施設整備に関する市民検討委員会の進め方に附帯決議

◆老朽化の進む公共施設  
当市の公共施設は昭和45年から平成12年頃にかけて建設されたものが多く、横手市財産経営推進計画（F・M計画）に基づき、長寿命化や機能再編などを行っています。特に競技用体育館や市民ホールなどの大型公共施設については、平成30年度に示された「施設展望」において複数の選択肢が示されている状況です。

老朽化が著しく、近い将来施設サービスの提供が困難になることが予想される中、先送りは今後の施設更新の機会を失うため、市としては待ったなしの課題と位置付けています。

◆「市民検討委員会」の設置  
新年度予算の中に、横手体育館や横手市民会館等のあり方を主な焦点とする「市民検討委員会」を設置する経費が盛り込まれました。

市では、委員会からの答申を受け、令和2年度中に大型公共施設の再編方針を示すこととしています。

◆合併特例債と財政負担  
●人口減少が進む中、合併特例債を限度額最大まで活用し、大型公共施設を建設しても大丈夫か。

●施設を建てた段階で維持管理費が発生する。今後財政規模が縮小していく中で、施設の維持修繕にかかる経費も明示すべきだ。

●同時期に図書館・体育館・市民ホールを建てることは、将来の更新時期も重なり、若い世代に負担を回すことになる。更新時期の平準化について配慮すべきでは。

●横手市の人口規模や面積に合った人数設定、議論する時間についてしっかりと確保するべき。

●市民に横手市財産経営推進計画の中身が浸透していない。夏頃までに答申を受けるとするのは急ぎすぎではないか。



横手体育館

横手市民会館

市当局より、「市民検討委員会には、施設が必要であるか否か、どの位の規模であればいいのかについて話し合い、市長に対し提言していただく」との答弁がありました。

審査にあたった総務文教常任委員会の総意により、青山豊委員長から本会議において、今後の事業実施にあたり適切な対応を求める附帯決議案が提出され、全会一致により可決されました。



## 一般会計予算に対し討論

立身 万千子議員  
当初予算では、令和2年度開始の会計年度任用職員制度に対し、国の財源保障がないままに各部署において工夫を凝らして報酬を捻出している。施政方針演説では、企業会計のもとで働く非常勤職員について触れていない。市長には、地に足の着いた施策を裏付ける予算のもとで市民の福祉向上を追求されるよう訴える。

## 決議

## 令和2年度横手市一般会計予算に対する附帯決議

令和2年度横手市一般会計予算2款1項7目の「総合計画策定事業」において、大型公共施設整備等に関する市民検討に要する経費が計上されている。

市の説明では、市長の私的諮問機関として10人から20人程度の市民検討委員会を組織し、体育館、文化ホール、市民プールの3施設について再配置の方向性を議論し、令和2年夏ごろまでに市長に答申するとしている。

大型公共施設は利用する市民にとって重要であるとともに、未来の横手市の財政運営に大きな影響を与えるものでもあり、委員は重大な役割を担うことになる。このような市の将来を左右する検討をするにあたり、限られた人数と極めて短い期間で意見をまとめるという方針は拙速に過ぎるという印象が拭えない。

また、これまで合併特例債については発行限度額の75%までの活用に限るという説明があった。将来の財政運営上、過大な負担とはならないと言いつつも、横手市財産経営推進計画において長寿や維持に位置付けられている施設であっても必ずしも修繕が十分ではない状況である。そもそも横手市財産経営推進計画自体、市民にその内容が浸透しておらず、しっかりとした市民説明と周知が求められている。

以上のことから、事業実施にあたっては以下の点に留意して、より住み良い魅力的な横手市の未来につなげるための市民検討委員会となるよう、適切な対応を求めるものである。

- 十分な検討期間を設けるとともに、多様な市民の意思を十分に反映できるように委員を選定すること。また検討委員会の開催の状況を明らかにし、その検討の経過と結果を速やかにかつ丁寧に市民及び議会へ公表すること。
- 委員となる市民に対しては、検討委員会の責任の重大さをしっかりと認識していただくとともに、公共施設の修繕が十分ではない現状と横手市財産経営推進計画の内容及び方向性、また横手市の財政について詳細な説明を行い理解していただいた上で議論となるように努めること。

以上、決議する。  
令和2年3月19日 横手市議会



## しらとり議員が解説します!

附帯決議って何?  
委員会や本会議で議案を議決する際に、その案件につけられる意見または要望の決議のことだよ。法律上の効果は伴わないよ。

## 議案pick up

- 人権擁護委員を推薦  
吉川美津子氏（平鹿・新任）、鈴木 美佳氏（平鹿・新任）  
神原 英夫氏（平鹿・再任）、照井 静信氏（平鹿・再任）
- 公立保育所の民営化  
公立保育所民営化計画に基づき、4月1日より十文字地域では睦合保育所と植田保育所が統合し新たに「にしの杜保育園」が、大雄地域では「たいゆう保育園」が開所します。

## 賛否が分かれた議案と審議結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席  
※播磨博一議長は採決に加わりません。

案件名	令和2年度横手市一般会計予算	令和元年度横手市一般会計補正予算(第5号)	
		議決結果	原案可決
表決数	賛成	21	22
	反対	2	1
新風の会	青山 豊	○	○
	加藤 勝義	○	○
	奥山 豊和	○	○
	佐藤 誠洋	○	○
	高橋 聖悟	○	○
	木村 清貴	○	○
市民の会	山形 健二	○	○
	大日向香輝	○	○
	菅原亀代嗣	○	○
	菅原 正志	○	○
	齋藤 光司	欠	欠
	菅原 恵悦	○	○
さきがけ	寿松木 孝	○	○
	播磨 博一	-	-
	塩田 勉	○	○
新政会	佐々木喜一	○	○
	遠藤 忠裕	○	○
	小野 正伸	○	○
	佐藤 清春	○	○
日共産党	鈴木 勝雄	●	●
	立身 万千子	●	○
公明党	土田百合子	○	○
みらい	高橋 和樹	○	○
新緑会	本間 利博	○	○

## 陳情の審査結果

- 採 択  
○横手市増田町戸波橋の改修に関する陳情  
(横手市増田町戸波自治会 会長 後藤佳典氏 他2名)  
○加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める陳情  
(全日本年金者組合横手支部 支部長 佐々木章氏)
- 継続審査  
○公立学校に「1年単位の变形労働時間制」を導入する条例制定に反対する陳情  
(秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 石川基氏 他1名)



奥山豊和議員

Q 5年で新規就農150名を超えるなど成果は出ている  
横手市が取り組んできた「地方創生」の成果は

答 多子世帯を対象とする保育料や一時預かりなどの利用料の軽減を実施している。新たな施策については、子育て家庭のニーズや社会情勢の変化を踏まえ検討する。

問 子育て世帯に対する優遇措置の拡大を講ずるべきと思うが、市の考えを伺う。  
答 多子世帯を対象とする保育料や一時預かりなどの利用料の軽減を実施している。新たな施策については、子育て家庭のニーズや社会情勢の変化を踏まえ検討する。

問 皆で知恵を出し合い議論を重ね、地域自ら考え自ら行うことが「地方創生」の理念だと思つ。まちづくりにも多様な意見を取り入れる手法、市民との対話のあり方は。  
答 次期計画策定にあたり、審議会と合わせ、政策分野ごとに市民と市職員による策定委員会を設置し、少人数に分かれて自由な対話を行う手法を取り入れたい。

問 自動運転やAI(人工知能)の活用による健康増進、スマート農業の推進など、いかにして、まちづくりをモデルチェンジしていくのが問われている。テクノロジーの有効活用は地域課題解決に繋がる手段。少子高齢化先進地としてSociety5.0に取り組む姿勢は。  
答 先端技術を活用することで、子どもから大人まで多くの市民が幸せな暮らしを享受できるまちづくりが可能になる。活用に向け積極的に、官民連携で具体的な話し合いを進めていきたい。



まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業効果検証を行う、外部有識者会議の様子

問 金沢地区では旧横手地域で初めて、公民館を交流センター化にする準備が進められている。支所機能は残るとはいえ、今後の行政サービスや施設管理など住民の不安は払拭したとは言えない。職員の配置なども含め、今後の方向性を伺う。  
答 拠点となる施設は、これまでどおり行政で管理していく。また、事業開始後、当面は施設内に職員を配置し、自主運営組織の事業運営を支援していく。事業開始に向け、住民の不安や心配が払拭できるよう努める。

問 交流センター事業は共助だけでは長続きしない。行政として共助を推進するためインセンティブ制度などの仕組みが必要では。  
答 若い世代の地域参加が少なくなっている中で、担い手の確保は大きな課題である。先進事例などを参考にし、地域の意見も取り入

Q 当面は職員を配置し事業運営を支援する  
住民主導の金沢地区交流センターの方向性は



地区交流センターとしてスタートする金沢孔城館

問 金沢地区では旧横手地域で初めて、公民館を交流センター化にする準備が進められている。支所機能は残るとはいえ、今後の行政サービスや施設管理など住民の不安は払拭したとは言えない。職員の配置なども含め、今後の方向性を伺う。  
答 拠点となる施設は、これまでどおり行政で管理していく。また、事業開始後、当面は施設内に職員を配置し、自主運営組織の事業運営を支援していく。事業開始に向け、住民の不安や心配が払拭できるよう努める。

問 後継者不足が顕著な農業の現場から、スマート農業の推進に期待が高まっている。今後、行政として支援できることは何か。  
答 現在、市単独事業で農業用ドローンの機体導入や操作資格取得に対する助成等を実施している。今後、スマート農業の技術の進歩とともに、農業者ニーズを把握し、先進的な取り組みを目指す。

小野正伸議員

●少子化対策について

問 子育て世帯に対する優遇措置の拡大を講ずるべきと思うが、市の考えを伺う。  
答 多子世帯を対象とする保育料や一時預かりなどの利用料の軽減を実施している。新たな施策については、子育て家庭のニーズや社会情勢の変化を踏まえ検討する。

●施設展望について

問 施設方針で、体育館、市民ホールに言及していた。斎場や市民プールなど、他の施設についての考えを伺う。  
答 体育館、市民ホールは、全市的に利用されている状況の中、施設の老朽化が進み喫緊の課題と考えている。また、市民プールは、検討委員会で意見を聞きながら方針を定め、斎場は、改修しながら長寿命化をはかる方向で検討していく。

●新型コロナウイルス感染症対策は

問 感染者が出た場合の対応や指定病院としての受け入れ態勢について伺う。  
答 2月10日に「新型コロナウイルス感染症対策に係る横手市災害連絡部」を設置した。横手病院は指定医療機関として感染症床4床、感染外来の機能を有しており、保健所・消防本部と合同で感染症対策訓練を行っている。国・保健所、および地域医療機関と協力して対応にあたる。

●その他の質問

再任用職員について  
防災について

みんな元気でいきいきと暮らせるまちづくりを市民の会



再任用職員について

●その他の質問  
再任用職員について  
防災について



菅原 健二 議員

●一級河川に警報機を

問 大雨時のダムからの緊急放流に備え、放流を住民に周知する警報機(サイレン)を設置するべきではないか。  
答 県内では、これまでダムからの緊急放流が行われた実績はないが、地域住民へ危険性を知らせる設備は必要と考える。国、県など関係機関に対して危険防止の措置を講じるように求めている。



志摩 健二 議員

市民の安全を守り心豊かになる市政を さきがけ



増水する雄物川

●ふるさと納税について  
ふるさと納税の使い道は、きちんと寄附者に見えるようにするべきではないか。  
答 横手ならではの具体的に特徴的な活用方法を検討し、納税者に共感いただけるように努める。



志摩 健二 議員



立身万子議員



Q 磁気ループと補聴器購入補助を

問 障がい者(児)への補装具費支給事業とは別に、市民の補聴器購入に公的補助を求めるがどうか。

答 来年度策定する予定の「第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画」の中で検討する。

問 磁気ループ(ヒアリングループ)は、マイクによる音声信号をアンプを通じて電気信号に変え、アンテナ等によって磁気を発生させ、それを補聴器で受信させる装置である。公共施設や市役所窓口に設置できないか。

答 まずは補聴器について県の副市長会で国への要望事項の中に入った。4月の県市長会で審議予定のためその後の検討になる。

問 対象となる企業の事業計画に、労働契約や就業規則等は明記されているか。

答 記載はないが、状況を把握するため県の働き方改革推進員との



加齢性難聴者の補助用具の一つ「ボイスモニター」

問 公募により任用が更新となる場合の報酬額は、新規で任用されるものと同額になるのか。

答 同一職種であれば、勤務経験年数を考慮した報酬額となる。

A 県市長会で導入を審議する



山形健二議員



Q 人口減少対策の具体的なビジョンはあるか

問 横手市は日本の中においても人口減少の問題が先行している地域であるが、人口減少対策について具体的なビジョンはあるのか。



新婚夫婦を応援する幸せブーケトス事業

●幸せブーケトス事業の見直しを

問 この事業は婚姻数を増加させるための事業として成り立っていないのではないか。事業の成果を伺う。

●ひとり親家庭支援の充実に

問 18歳未満の国保税均等割額を免除してはどうか。

●ひとり親家庭支援の充実に

問 国が行うべき施策と考えており、国や県の動向を注視していきたい。

Q 地区会議の要望を実施できない理由は

●地域づくりの支援について

問 市内36地区に設置している地区会議から毎年出されている要望について、市民の皆さんからの不満の声が多く聞こえてくる。市民の幸せを向上させるためにも地域要望には十分に答えるべきではないのか。時間が経過しても実施できない理由は何か。また、すべて達成させるための戦略はあるのか。

答 平成30年度の地区会議からのハード事業の総要望件数は482件で、完了件数は200件、実施率は4割であった。未実施の理由については、地区会議で行うべきもの、市が主体となって行うべきもの、他機関へ依頼するもの、行政では対応できないものがあり、その分けを行い、地区会議で行うべきものの中で劣化状況・危険度・緊急性などを考慮し、優先順位を付けながら順次対応している

Table with 4 columns: 地区名, 地区長, 地区副長, 地区員. Lists various districts and their representatives.

コミュニティ組織の設立を図ることを目的に設置している「地区会議」

A 優先順位で対応せざるを得ない

高橋和樹議員



佐藤清春議員



Q 石持川幹線排水路改修は再検討が必要だ

問 国営横手西部農業水利事業における石持川幹線排水路の今後の改修計画は、地元要望がほとんど反映されていない。排水機能上はもちろん、防災・減災いわゆる危機管理上の観点からも問題がある。再度検討する必要があると思うが市長の見解を伺う。



大雨時に逆流が発生する無堤箇所を流れる石持川幹線排水路

●地域づくりの支援について

問 石持川幹線排水路と密接に関連があり、無堤となっている鳥屋場地区の堤防整備について、早期実現のため継続しての要望が肝要と考えるが市長の見解を伺う。

●地域づくりの支援について

問 山城堰頭首工は、固定堰一部可動堰の構造から常に水位落差がある状態にあり、増水時には石持川幹線排水路の流下能力の低下の要因となっていることも考えられる。今後、関係機関と情報共有を図り、協議をしていく。

●地域づくりの支援について

問 昨今、小さな拠点と言われている、市民による地域活動や協働活動について、頑張っている方々の活動や思いを市長はどう考えているのか。



土田 百合子 議員



Q 「横手市男女共同参画推進条例(仮称)」制定の考えは  
A 第4次行動計画策定作業の中で方向性を打ち出したい

問 女性の防災士・地域防災リーダー等の育成について伺う。  
答 令和2年度予算案に、防災士資格取得を支援し、自主防災リーダーとして市と連携して防災活動に取り組むための事業費を計上している。女性の自主防災リーダー育成にも力を入れ、女性の視点を生かした防災力の向上を目指す。

問 増田地域の水道整備計画は  
答 増田地域の荻袋・安養寺・大和沢・熊淵4集落の水道整備を早期に実施して欲しいがどうか。  
答 整備後の加入率が低いことが見込まれることから、事業化に至っていない。今後は、補助事業の拡充を国に要望し、地区住民の意向を確認し事業化を検討する。

問 導入によりスマートフォンから文字情報で119番通報できるが、スタートはいつ頃か。  
答 東京2020オリパラが開催される7月頃を目指す。

問 増田地域の水道整備計画は  
答 増田地域の荻袋・安養寺・大和沢・熊淵4集落の水道整備を早期に実施して欲しいがどうか。  
答 整備後の加入率が低いことが見込まれることから、事業化に至っていない。今後は、補助事業の拡充を国に要望し、地区住民の意向を確認し事業化を検討する。



女性防災士・地域防災リーダー等の育成が望まれる

問 地区交流センター化の目的は、持続可能な地域づくりに向け、幅広い年代が男女共同で話し合う仕組みづくりが第一と考えているが、市長はどう考えるか。  
答 明快な目的として共有できない。  
●旧美術工芸展示室の執務状況は  
問 職場環境、庁内連携に支障はないか。  
答 まちづくり推進部、財務部、教育総務部の3部49名を配置している。庁内連携について、特別支障があるとは考えていない。スペース等の制限はあるが、戦略的環境的にベストな状況を提供できるように検討したい。  
●ホストタウン構想におけるインドネシアとの交流について  
問 バドミントンを通じた交流をどのように進めるか。  
答 昨年12月には市内中高生によるバドミントンチームが、インドネシアで合宿を行い交流を深めた。今後、多くの市民がバドミントンに親しめる機会を定期的に提供できるように、関係団体と連携し普及促進を図る。  
●増田まんが美術館の積極活用と相乗効果を期待  
問 中学・高校・大学・企業を巻き込んだ取り組みはできないか。  
答 地元から漫画家やイラストレーターなどが輩出できる環境づくりにつながるよう、市内外の高校・企業なども連携し、より魅力的な事業を展開すべく努める。



3部が混在する旧美術工芸展示室(条里南庁舎)の執務環境



本間 利博 議員



Q 横手公園スキー場廃止と施策について  
A 天下森スキー場と赤坂総合公園の整備を行う

問 令和元年6月定例会において市内3団体から出された横手公園スキー場存続の陳情が採択されたにもかかわらず、廃止する方針とした検討の内容について伺う。  
答 横手公園スキー場北側緩斜面の利用を含めて検討したが、再開にかかるコストなどから維持運営は不可能と判断した。これまで利用されている高校、小学校や、陳情された団体には説明を行い理解を求めた。

問 横手市財産経営推進計画(FM計画)やスポーツ推進計画では、まちづくりのための施設であるべきとあるが、冬季のスポーツ振興の有効な施策もない現状でスキー場廃止は妥当と考えるか。  
答 天下森スキー場を長寿命化施設として整備していく。ウインタースポーツを推進していくために、赤坂総合公園にクロスカント



さらなる利便性向上が望まれる天下森スキー場

問 JAとの連携協定に伴う園芸作物の支援事業による、重点作物等の作付状況はどうなっているか。  
答 戦略品目として位置付けている4品目の作付面積は、前年度比15%減少しているが、販売額は1600万円増加した。生産性の向上を図るため、令和元年度より戦略作物重点支援事業を創設したほか、高収益作物導入推進事業についても面積拡大や新規取り組みなどの要件を緩和しており、引き続き生産意欲の維持向上に努める。  
問 作付面積が減少する中、土づくりのために産地づくり事業による産地交付金等のかさ上げが必要と考えるがどうか。  
答 産地交付金については令和元年度当初と同額とする方針とした。その他、独自支援策として重点振興作物等の作付に対し、水田利活用緊急支援事業を行い安定した所得を得られるよう事業を継続するとともに、単価についても市農業再生協議会での協議を踏まえ検討していく。  
問 国会や農業団体からも小規模家族農業に対する支援対策が求められているが、当市での支援施策等はどのようにしているか。  
答 令和元年度より、機械や施設等の導入助成において、経営規模を維持する農業者も対象となるよう要件を緩和したほか、農業経営安定化対策資金「マル農」を拡充し支援している。

問 明確な目的として共有できるか  
A 私の思う地区交流センター化の目的を共有できるか

問 JAとの連携協定に伴う園芸作物の支援事業による、重点作物等の作付状況はどうなっているか。  
答 戦略品目として位置付けている4品目の作付面積は、前年度比15%減少しているが、販売額は1600万円増加した。生産性の向上を図るため、令和元年度より戦略作物重点支援事業を創設したほか、高収益作物導入推進事業についても面積拡大や新規取り組みなどの要件を緩和しており、引き続き生産意欲の維持向上に努める。  
問 作付面積が減少する中、土づくりのために産地づくり事業による産地交付金等のかさ上げが必要と考えるがどうか。  
答 産地交付金については令和元年度当初と同額とする方針とした。その他、独自支援策として重点振興作物等の作付に対し、水田利活用緊急支援事業を行い安定した所得を得られるよう事業を継続するとともに、単価についても市農業再生協議会での協議を踏まえ検討していく。  
問 国会や農業団体からも小規模家族農業に対する支援対策が求められているが、当市での支援施策等はどのようにしているか。  
答 令和元年度より、機械や施設等の導入助成において、経営規模を維持する農業者も対象となるよう要件を緩和したほか、農業経営安定化対策資金「マル農」を拡充し支援している。



所得向上に向けた農家への支援が力ギ



菅原 正志 議員



問 明確な目的として共有できるか  
A 私の思う地区交流センター化の目的を共有できるか

問 JAとの連携協定に伴う園芸作物の支援事業による、重点作物等の作付状況はどうなっているか。  
答 戦略品目として位置付けている4品目の作付面積は、前年度比15%減少しているが、販売額は1600万円増加した。生産性の向上を図るため、令和元年度より戦略作物重点支援事業を創設したほか、高収益作物導入推進事業についても面積拡大や新規取り組みなどの要件を緩和しており、引き続き生産意欲の維持向上に努める。  
問 作付面積が減少する中、土づくりのために産地づくり事業による産地交付金等のかさ上げが必要と考えるがどうか。  
答 産地交付金については令和元年度当初と同額とする方針とした。その他、独自支援策として重点振興作物等の作付に対し、水田利活用緊急支援事業を行い安定した所得を得られるよう事業を継続するとともに、単価についても市農業再生協議会での協議を踏まえ検討していく。  
問 国会や農業団体からも小規模家族農業に対する支援対策が求められているが、当市での支援施策等はどのようにしているか。  
答 令和元年度より、機械や施設等の導入助成において、経営規模を維持する農業者も対象となるよう要件を緩和したほか、農業経営安定化対策資金「マル農」を拡充し支援している。



鈴木 木勝雄 議員



問 明確な目的として共有できるか  
A 私の思う地区交流センター化の目的を共有できるか

問 JAとの連携協定に伴う園芸作物の支援事業による、重点作物等の作付状況はどうなっているか。  
答 戦略品目として位置付けている4品目の作付面積は、前年度比15%減少しているが、販売額は1600万円増加した。生産性の向上を図るため、令和元年度より戦略作物重点支援事業を創設したほか、高収益作物導入推進事業についても面積拡大や新規取り組みなどの要件を緩和しており、引き続き生産意欲の維持向上に努める。  
問 作付面積が減少する中、土づくりのために産地づくり事業による産地交付金等のかさ上げが必要と考えるがどうか。  
答 産地交付金については令和元年度当初と同額とする方針とした。その他、独自支援策として重点振興作物等の作付に対し、水田利活用緊急支援事業を行い安定した所得を得られるよう事業を継続するとともに、単価についても市農業再生協議会での協議を踏まえ検討していく。  
問 国会や農業団体からも小規模家族農業に対する支援対策が求められているが、当市での支援施策等はどのようにしているか。  
答 令和元年度より、機械や施設等の導入助成において、経営規模を維持する農業者も対象となるよう要件を緩和したほか、農業経営安定化対策資金「マル農」を拡充し支援している。

健康・福祉・環境

厚生常任委員会のページがご覧いただけます。



避難行動要支援者名簿の活用は

名簿の更新はどのように行うのか。また、実効性のある活用をする必要があるのでは。

避難行動要支援者名簿は、住民基本台帳と突き合わせながら毎年更新している。消防団や共助組織を含めた地区防災計画の必要性は感じており、避難行動要支援者の個別計画の策定にあたっては、福祉部局、消防、危機管理課などと情報共有しながら、災害時の支援者や避難先の確認など、実効性のある名簿活用ができるように進めていく。



西部斎場整備に関する附帯決議をどう受け止めているのか

平成30年6月議会で全会一致の附帯決議を可決したが、当局とは認識に差があるのでは。

令和元年度末には整備の実施可否を決定することになっている点について、スケジュールが遅れていることはお詫びする。会派代表質問の中で改修という方向を示したが、全体的な大型公共施設の整備方針の中で議会に示したい。しかし、西部斎場だけを整備することを決定しているとは認識していない。



学童保育の現状は

支援員の人数は足りているか。受け入れ可能な学年が施設によって異なる理由は。

9割以上の施設で支援員は充足している。不足している分はアルバイトで充足させているので、基準は満たしている。国の制度改正により6年生までの保育が可能になったが、施設面積の基準を満たさず、4年生までしか受け入れられないところがある。施設確保に取り組んでおり、確保できたところから順次拡大していきたい。



介護施設の入所待機者解消策は

入所待機者の解消に向けた対策は。介護施設の新設を認める考えはあるか。

民間でも人員不足の現状はかなり厳しく、短期入所を中心に100%の稼働はできていない状況だ。市単独で抜本的な解決を図ることは難しいが、国では法人間の連携による組織づくりの方針を出しており、市としても関わりを持っていきたい。

介護施設の新設については、人材不足に加え、介護保険料が上がる要因となるため考えていない。



ちょっと教えて？ ねえ、常任委員会って…なに???

市議会で話し合う問題は多岐にわたるため、議員全員で調べたり、集まって話し合ったりすると膨大な時間がかかってしまいます。そこで、本会議とは別に常任委員会を設け、さまざまな問題を分担し詳しく話し合いを行っています。

横手市議会には、厚生、産業建設、総務文教の3つの常任委員会があり、議員はいずれかの委員会に所属することになっています。

ここでは3月定例議会において各常任委員会がそれぞれ注目した案件を紹介します。

厚生常任委員会

民営化され新しくできるたいゆう保育園の定員は150人だったが、新しいたいゆう保育園の定員は90人となっている。この定員は現状に合っているのか。

実際に入園している園児は90人程度であり、この状況はしばらく続くものとみている。施設自体は若干定員を上回っても対応できるものとなっている。

問にしの杜保育園を経営する社会福祉法人は保育所の運営実績を持たないが、指導体制を含めて運営に支障はないか。

問 陸合保育所の元所長を園長に迎えるほか、十文字地区の他の保育所での経験がある保育士が勤務することになっている。また、この社会福祉法人は、地元で介護施設を経営するなど、地域に根差した活動を行っており、問題は無いと考えている。



新しいたいゆう保育園

産業建設常任委員会

ゆづぶるの工事を行った経緯は？

問 修繕については数年前から課題となっていたにもかかわらず、市営温泉民営化が検討されている中で工事を行った経緯は。

答 民間譲渡するにも手続きに時間が必要。ポイラーやタイヤなど、近々に使用できなくなる状態が想定されており、施設を維持・稼働するため、に工事が必要と判断した。

戸波橋(増田地域)の改修に関する陳情

●陳情の趣旨は高欄のサビや路面、地覆の補修と捉えており、対応は可能ではないか。

●改修となれば、通行止めや迂回路利用について理解していただく必要がある。などの意見が出され、採決の結果、起立全員により採択すべきものと決定した。



総務文教常任委員会

大型公共施設を建設しても横手市の財政運営は本当に大丈夫か？

問 合併特例債の発行限度額をどう考えているのか。

答 合併当初は多額の起債は財政運営上厳しいだろうと判断し、限度額の75%、410億円を上限としていたが、今回の計画変更により、発行限度額の100%、544億円を活用する想定で財政計画を立てている。

問 合併特例債を限度額いっぱい活用して大型公共施設を建設しても大丈夫か。

答 先に借り入れた分の返済もだいが進んでいる。発行期限が5年間再延長されたため、残りの25%を使ったとしても世代負担を公平にして返済するので大丈夫だろうと判断している。大型公共施設については市民検討委員会を組織し、必要かどうかを含めた検討をしたい。このことについて、適切な対応を求めるため、附帯決議案を提出した。



横手市民会館



### FM計画は周知不足

横手市財産経営推進計画（FM計画）を進めるには住民の理解が重要では。

**答弁** 施設のあり方についてどのように検討していくのか、各地域に出向いて、さまざまな方と話し合いをする機会を持ちながら進めていきたいと考えている。大型公共施設等に関する市民検討委員会では、横手体育館、市民会館、市民プールの整備の可否を含めた再配置の方向性について検討していただく予定である。委員にはFM計画の考え方や、事業を実施する際に必要と想定される予算、補助金についても丁寧に説明したい。



### 給付型奨学金制度の検討を

将来を担う子どもたちのため、ふるさと応援基金を原資とした奨学金制度の検討を。

**答弁** ふるさと応援基金を活用した返済不要の給付型の奨学金制度について、ふるさと応援基金は担当部局間で使うと判断すれば活用は可能ではあるが、給付型の奨学金制度については以前検討した際、若者の地元定着という観点では効果は薄いという結論を出した。令和2年度は総合計画を立てる時期でもあり、効果について再度検証したい。



### 地域の防災力向上を

自主防災リーダー育成の目的と、取り組みの内容は。

**答弁** 災害が多発している中で、共助が非常に大切になっている。公助には限界があることが心配されており、それをカバーする自主防災リーダーを育成したい。活動が停滞している自主防災組織に自主防災リーダーが出向き、取り組み事例などを紹介することで、住民への地域防災意識が波及していけば、一層活動が活発化すると考えている。



### 災害用備蓄品の状況と配置は

5年サイクルで整備するとしている備蓄品の購入予定状況と、分散配置の考えは。

**答弁** 令和元年度中の備蓄品購入により、県が指定する19品目全てにおいて備蓄率が100%を超えている。備蓄品の賞味期限は最長5年となっており、年度ごとに分けて管理している。なお、令和2年度はご飯、水の購入を計画している。今後、地域局や、孤立が心配される集落会館等へ備蓄品の分散配置を行う予定である。



### 有害鳥獣対策事業は

最近ではクマだけでなくイノシシやシカ、サルなども増えている。対応は可能なのか。

**答弁** 昨年、クマによる被害が多発したことを受け、対策マニュアルを作成するよう県から指導があり、間もなく着手する。令和2年度はイノシシの捕獲用わなを追加で購入し、猟友会と連携しながら取り組んでいく。また、被害が発生してから、おりを設置する方法から、出没が想定される場所に設置するよう改善するなど、スピード感ある対応をしていきたい。



### 市営住宅の修繕の対応は

入居者や施設の指定管理者から修繕の要望はないか。また、その対応への状況は。

**答弁** 長寿命化計画に基づき、大規模な修繕は市が行うことになっているが、現時点でその要望はない。細かな修繕等については、指定管理者制度導入直後は時間がかかり入居者にご迷惑をおかけしたケースもあったが、現在は運営協議会を定期的開催し、具体的な引き継ぎも進んでいるので、順調に維持管理できている。



### LED防犯灯の修繕は

街路灯LED事業で設置したLED防犯灯の修繕はどのように対応しているのか。

**答弁** LED防犯灯は、令和2年10月までは瑕疵担保期間となっており、それまでに正常な管理において不具合があった場合は原則無償で交換となる。ただし、外的要因による不具合については別対応としている。

街路灯LED事業…設置済みの100W以下の街路灯について、横手市新事業分野開拓者として認定された事業所で製造した灯具製品を使用してLED化を進め、電力使用量の削減及び環境への負担軽減を図る事業。



### 道路の穴ぼこなどへの対処は

生活インフラ整備加速化事業が再編された後も、道路の穴ぼこなどに対処できるのか。

**答弁** 道路維持管理費については、これまで各地域局で予算措置のうえ対処していたが、令和2年度からは建設課で予算を計上し、各地域に配分して対処することとした。緊急を要するものがあれば、追加配分により対処は可能と考えている。

**ポイント!** 昨年度まで生活インフラ整備加速化事業により身近な生活道路の修繕を行っていたが、令和2年度予算で事業が再編された。



# 第8回 議会報告会・意見交換会

どうするの？  
どうなるの？

**防災・雪対策・公共交通・大森病院 etc...**

429人

853項目

の声

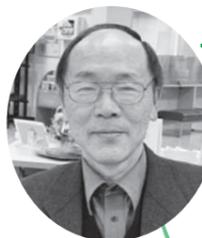
地域にお住まいの方々の声を聴き、市政や議会について意見交換を行う「議会報告会・意見交換会」を毎年度開催しています。  
本年度は、10月と1月の2期に分け、地区会議と共催して市内24会場で開催し、429人の方にご参加いただき、853項目にわたる声をいただきました。  
横手市議会ではお寄せいただいた地域課題や市政への要望などの貴重なご意見をもとに今後、各常任委員会などで検討を重ね、より住民本位のまちづくりができるよう取り組んでいきます。

## 金沢地区会議議長 本間さん



地区の住民の意識を高め、それぞれの思いを共有するいい機会になったと思います。  
回を重ねて参加者もだんだん増えてきているし、若い人も参加するようになりました。若い人が住み続けたいまちになるように、若い人の声を聴くことが重要になりますね。

## 山内中央地区会議議長 小助川さん



今回は設定したテーマについて話し合いをするスタイルでした。住民の関心が深いテーマについて話し合ったので、活発な意見交換ができました。  
他の地域の議員にもこの地域の課題を理解してもらおう機会にもなり地域の後押しになると期待しています。

## 里見地区会議議長 小松田さん



初めて少人数グループに分けて話し合いをしましたが、議員と世間話をしたり、とても話しやすい雰囲気でした。  
他の地域の議員と話すのも新鮮で、今までにないくらい活発な意見交換ができ、盛り上がりすぎて時間が足りないくらいでした。

お気軽に  
お問い合わせ  
ください！



## 市民と議会の懇談会開催申込受付中です！

「市民と議会の懇談会」は、議員との意見交換を希望する団体等とテーマを決めて話し合いをするものです。  
開催申込は随時受け付けています。



### 議会報告会・意見交換会

議員と参加者の皆さんで、地域が抱える課題などについて意見交換を行いました。



### 実施内容の振り返り

いただいたご意見などについて各班で振り返りを行い、意見をとりまとめました。



### 広報広聴委員会

今後、調査や市側との協議を行うため、担当委員会への割り振りを行いました。



### 政策提言

いただいたご意見を委員会審査や一般質問で取り上げるなど、政策提言を行っています。



広聴分科会 行政視察

## 議会報告会の充実に向けて

1月31日(金) 静岡県掛川市

**視察の目的** 掛川市議会では、議会報告会参加者のご意見を踏まえ、全議員で政策討論会を行い、合意形成を図ったうえで市長へ政策提言を行っている。市民の声を生かした政策提言の手法として、当市議会の参考としたい。

### ポイント

■活発な議員間討議を実施している  
議会報告会でいただいたご意見をもとに、議員全員で深掘りし、対策を講じる。政策提言、政策条例は市民の意見を十分に反映し、実効性のある内容になっている。

### 視察を終えて

▶市の課題について、議会側の考えを示して市民の皆さんと話し合うことは、市長に政策提言していく上でも重要であり、新年度の議会報告会は3つの常任委員会ごとの研究テーマを基に、皆様から意見を何う形式で実施できれば、更に充実してくるものと感じた。  
(小野 正伸)



## 議員間討議を学ぶ

2月6日(木) 議員研修会

委員会活動などにおいて正しく「議員間討議」を活用・実践し、市政に関する課題等の論点や争点を明確にした合意形成を図るため、青森中央学院大学准教授の佐藤淳先生を講師にお招きし議員研修会を行いました。



### 研修の内容

- 議員間討議と言ってもまずは「対話」から
- 絶対に自分の意見が正しいと思うのはNG
- 対話はお互いがどう思っているか「意味づけ」を確認するプロセス
- 対話の中で自分の意見が変わってもOK

これらを踏まえて横手市議会の議員間討議のルールをどうするか

### ◆議員の感想

- ・雄物川高生との懇談会のような表情で議員間討議ができればいいと思った。
- ・4つのグループで似通った意見が出ていたので、みんな同じような思いを持っているのだと認識した。
- ・ルールがしっかりできると発言しやすくなったと思った。

### ◆講師のコメント

ルールが決まると意見が言いやすくなり、聴きやすくなる。そういうところから「議員間討議」を行っていき、執行部と「対話」ができるようになってほしい。

## 市議会議員が 小学6年生のゲストティーチャーを務めました！

2020.1.17 醍醐小学校

さまざまな職業の人のお話を聞いたり、関心のある職業について調べることを通して、地域の良さ、周りにいる人たちのすばらしさ、自分の良さに気づき、これからの自分の生き方を考えようという趣旨の授業に参加しました。議員は自身の幼少期の話や、これまでの人生、議員を志した経緯などをお話しました。



### 議員が伝えた3つのメッセージ

- ・未来は自分次第。失敗してもまた輝ける！
- ・できるだけ早い時期に大きな目標を持って！
- ・地元の良さは外に出てわかることもある。いずれは地元に戻ってきて活躍してほしい！

### 児童の声

- ・議員と聞くと、えらい人とかかたい人のイメージがあったけど、3人のゲストティーチャーは明るくとても元気がよく、今までのイメージがすごく変わりました。
- ・お話を聞いて、議員になるのもわるくないなと思いました。
- ・ただ「議員になる」と言うだけではなれなくて、みんなからの支持を受けながら挑まないといけない大変なお仕事なんだと改めて感じました。

2019.12.17 植田小学校

横手市の地域活性化プランを作成しようという授業の中で、「自分たちができることは何だろう」「横手市はどんな課題を抱えているだろう」「どんな横手市にしたいか」など、さまざまな視点で学習を重ねてきたことについて、3つの研究テーマについて議員へ質問したり、議員からアドバイスを受けて、相互に有意義な意見交換となりました。



### 3つのテーマに分かれて意見交換しました！

### 研究テーマ

- 空き家・福祉・財政
- 少子高齢化・人口増
- いじめ・自殺・カウンセラー

### 児童の声

- ・私たちの話を真剣に聞いてくれました。いろんな質問に答えてくれて、アドバイスももらえて良かったです。
- ・人口を増やするために横手をもっとPRしたいと思いました。
- ・もっと人口が増えて、豊かな横手市になってほしいです。
- ・いじめや自殺が無くなって、みんなが笑顔でいられる横手市になればいいな。

